

授業科目名	開講年次	開講学期	講義種類	単位数	担当教員名
保育実習 I (施設)	1	後期	実習	4	池増 知予子

○授業の到達目標

1. 児童福祉施設等の役割や機能を具体的に理解する。
2. 観察や子ども（利用者）とのかかわりを通して子ども（利用者）への理解を深める。
3. 子ども（利用者）への保育（支援）及び保護者（家庭）への支援について総合的に理解する。
4. 保育（支援）の計画・観察・記録及び自己評価等について理解する。
5. 保育士の業務や職業倫理について具体的に理解する。

○授業の概要

【実務経験を有する教員による講義】

児童福祉施設等（保育所以外）において実際に子どもたちや利用者とかかわることを通して、それぞれの実習先施設における保育士又は対人援助専門職の役割と意義について理解する。またこれまで大学で履修した教科全体の知識・技能を基礎として、これらを総合的に実践する応用能力を養うために体験・学習し、養護の理論と実践の関係について習熟する。

【事前学修】

施設の役割と機能を予習する。

- ・施設における子ども（利用者）の生活と保育士の援助やかかわり
- ・施設の役割と機能

【児童福祉施設等（保育所以外）における実習の内容】

- 1 子ども（利用者）の理解
 - (1) 子ども（利用者）の観察とその記録
 - (2) 個々の状態に応じた援助やかかわり
- 2 施設における子ども（利用者）の生活と環境
 - (1) 計画に基づく活動や援助
 - (2) 子ども（利用者）の心身の状態に応じた生活と対応
 - (3) 子ども（利用者）の活動と環境
 - (4) 健康管理・安全対策の理解
- 3 計画と記録
 - (1) 支援計画の理解と活用
 - (2) 記録に基づく省察・自己評価
- 4 専門職としての保育士の役割と倫理
 - (1) 保育士の業務内容
 - (2) 職員間の役割分担や連携
 - (3) 保育士の役割と職業倫理

【事後学修】

実習における自己の課題を理解する。

実習後に実施される自己評価及びアンケートを通して実習を振り返り、課題を明確にする。

明確となった課題について実習事後指導や他科目等を通じて解決できるように努力する。

必要に応じて実習担当教員からのスーパービジョンを受ける。

○テキスト

「新保育基本シリーズ²⁰ 保育実習」公益財団法人児童育成協会監修. 中央法規

○参考書・参考資料等

「幼稚園教育要領解説」（最新版）文部科学省. フレーベル館

「保育所保育指針解説」（最新版）厚生労働省. フレーベル館

「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（最新版）内閣府・文部科学省・厚生労働省. フレーベル館

○学生に対する評価

実習先施設からの評価 70% 実習記録などの提出書類 30%